

令和7年度 低学年運動クラブ（水）年間カリキュラム

【ねらい】

- ・運動機能面の向上
- ・対人スキルの向上
(挨拶、傾聴姿勢、場面や年齢に応じた言葉遣い)
- ・自己発信力の向上
- ・自己肯定感の向上

	種目	目的・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●健康・生活 ●運動・感覚 ●認知・行動 ●言語・コミュニケーション ●人間関係・社会性 	※予想されること、◎注意点 (前年度の課題と今年度の改善策)
4月 5月 6月	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動 ・サーキット ・体幹トレーニング ・ボールレク 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動クラブの参加にあたっての心構え、基本動作を身に着ける ・運動クラブでの流れに慣れる ・他児との関わり方を学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動クラブの流れを覚える ・挨拶、傾聴姿勢を学ぶ ・他児との関わり方を学ぶ ・他児や職員に対しての言葉遣いを学ぶ (コミュニケーション能力の向上) ・空間認知機能の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動クラブ初利用の児童に対しての支援（新一年生、新規児童） →視覚支援にて運動クラブの流れを説明 →職員を個別につけ対応 ・他児や名前が分からない →1か月名札をつけて覚えてもらう (児童・職員)
6月 7月	<ul style="list-style-type: none"> ・縄跳び ・鉄棒 ・ボールレク 	<ul style="list-style-type: none"> ・今できる技をレベルアップさせる ・苦手を改善できるよう努力する ・ボールに慣れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・筋力アップ ・レベルアップした技の取得 ・自己肯定感の向上 ・協調性の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦手意識がある →まずはできる技のスキルアップを図り、自己肯定感を高め、少しずつ色々な技に挑戦する ・理解の乏しさ→視覚支援使用
8月 9月 10月	<ul style="list-style-type: none"> ・転がしドッジボール ・スポーツ大会に向けて 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールに慣れる ・ルールを理解し、実践できる ・勝つ楽しさ、負ける悔しさを覚える 	<ul style="list-style-type: none"> ・投げる、捕る、避ける動作を学び実践する ・他児や職員とのコミュニケーション能力の向上 ・空間認知機能の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールの取り合いで揉める →最初は職員が介入し、順番等決めて投げる。少しずつ慣れてきたら児童同士で話し合い解決するよう支援する。 ・ルール理解が乏しい →個別で職員が対応
11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> ・持久走 ・縄跳び（大縄） 	<ul style="list-style-type: none"> ・持久力の向上 ・持久走の楽しさを知る ・縄跳びの楽しさを知る ・きつなくても最後まで諦めない ・リズム感を身に着ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・持久力の向上 ・忍耐力 ・リズム感 ・協調性向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・きついからやらないという場面が見られる →まずは職員がお手本となり、一緒に走り最後まで取り組む姿を見せる ・縄跳びに苦手意識がある →まずは通り抜けから練習し、自己肯定感を高め、レベルアップを図る
1月 2月	<ul style="list-style-type: none"> ・跳び箱 ・マット 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦手意識を少しでもなくす ・できないことにも挑戦する。 ・今できる技よりもレベルアップを行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・筋力アップ ・レベルアップした技の取得 ・自己肯定感の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦手意識がある →まずはできる技のスキルアップを図り、自己肯定感を高め、少しずつ色々な技に挑戦する ・理解の乏しさ →職員のお手本や視覚支援使用
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを理解し、実践できる ・他児と協力し、勝つ楽しさ、負ける悔しさを学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・他児や職員とのコミュニケーション能力の向上 ・空間認知機能の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が手本となり、積極的に取り組む。 ・子どもたちが継続して参加できるよう視覚支援を作成する。